

# 精神医学 第30巻 総目次

1988年(第1号~第12号)

数字は通巻頁数, ( ) は号数

## 〔巻頭言〕

精神保健法施行5年後の見直しに

- 向けて……………富井 通雄… 4(1)  
 幕張でのおもい……………佐藤 孝三… 118(2)  
 二つの願い……………懸田 克躬… 246(3)  
 精神障害者の変遷……………市川 達郎… 366(4)  
 いま, 抗痴呆薬の開発に必要なもの……………三好 功峰… 490(5)  
 死と隣り合わせの精神科医……………中田 修… 604(6)  
 記述精神医学と力動精神医学……………切替 辰哉… 720(7)  
 国試ガイドラインと卒前教育……………十束 支朗… 838(8)  
 精神保健指定医の不思議? ……佐々木勇之進… 946(9)  
 疾病遺伝子はこわくない……………中澤 恒幸… 1060(10)  
 向精神薬の現在……………融 道男… 1174(11)  
 認知の障害と失認……………鳥居 方策… 1288(12)

## 〔特集〕

創刊30周年記念特集／精神医学—最近の進歩(第1部)

- 〔巻頭言〕 二つの願い……………懸田 克躬… 246(3)  
 履歴現象と機能的分離—その後の  
 10年……………臺 弘… 247(3)  
 精神医学と神経病理学……………猪瀬 正… 255(3)  
 国立精神・神経センター設立の経緯……………島蘭 安雄… 265(3)  
 わが国の精神医学の曙……………岡田 靖雄… 275(3)  
 精神保健法をめぐる一諸外国との比較……………高臣 武史… 283(3)  
 遺伝子工学と精神医学……………堺 俊明・米田 博… 291(3)  
 Transmissible dementia ……立石 潤… 299(3)  
 カルバマゼピンの感情障害にたいする治療効果と予防効果—研究の経過と最近の発展……………大熊 輝雄… 307(3)  
 睡眠障害をめぐる諸問題—老年者の睡眠障害を中心に……………山口 成良・吉田 寿一… 319(3)  
 摂食障害……………野上 芳美… 325(3)

創刊30周年記念特集／精神医学—最近の進歩(第2部)

精神疾患研究と J. Hughlings

- Jackson ……秋元波留夫… 368(4)  
 現象学的精神病理学と“主体の死”  
 —内因の概念をめぐる…木村 敏… 381(4)  
 精神分析……………西園 昌久… 389(4)  
 児童精神医学……………牧田 清志・山崎 晃資… 399(4)  
 精神医学と心身医学……………片山 義郎… 411(4)  
 WHO 研究活動の現状—精神衛生  
 に対する生物学的アプローチ  
 チを中心に……………高橋 良… 415(4)  
 神経伝達物質……………山下 格… 423(4)  
 覚醒剤精神病及びその精神分裂病との関連……………佐藤 光源… 433(4)  
 画像診断—PET を中心にして……………岸本 英爾・松下 正明… 443(4)  
 老年痴呆と抗痴呆薬……………西村 健… 453(4)  
 司法精神医学の問題点……………保崎 秀夫… 463(4)  
 世界の精神科医療の動向  
 アメリカ合衆国の精神科医療—ニューヨーク・精神分析的精神医療と精神薬理学的精神医療との関係についての動向……………竹友 安彦… 948(9)  
 アメリカ合衆国の精神科医療—カリフォルニア州の精神医療……………西山 正徳… 963(9)  
 アメリカ合衆国の精神科医療—ハワイの精神科医療の動向  
 Wen-Shing Tseng・浅井 昌弘・甲斐 陸興…………… 971(9)  
 カナダの精神科医療—地域精神医療におけるボランティア団体の発展……………井上 新平… 977(9)  
 イギリスの精神科医療……………北村 俊則・池上 直己… 985(9)  
 スペインにおける最近の精神医学の趨勢  
 Ricardo PONS-BARTRAN (訳 浦田 実, 高橋 良) …… 993(9)

## 〔シンポジウム〕

## 地域ケアと精神保健

東京都における地域精神保健医療

活動の歴史と現状……………蜂矢 英彦… 673(6)

地域ケアの展開と支援システム…外口 玉子… 679(6)

地域ケアとグループアプローチ…増野 肇… 693(6)

疾患モデルの限界と地域ケア—

ルコール依存症の場合……………斎藤 学… 701(6)

精神障害者の生活権をめぐる—

精神保健と地域ケアの視点から

……………滝沢 武久… 709(6)

## 痴呆とパーキンソニズム

レビー小体病の痴呆……………小阪 憲司…1253(11)

Economo 型脳炎後遺症の臨床病

理—他の黒核障害病との比較

……………石井 毅…1263(11)

パーキンソン・痴呆コンプレック

ス(グアム)……………村上 信之…1269(11)

痴呆とパーキンソン症候群

D. Frank Benson・翻訳 新井 平伊…1277(11)

## 〔展 望〕

代謝異常による精神発達障害の治

療……………成瀬 浩

第1回…………… 6(1)

第2回…………… 120(2)

自閉症の長期予後……………中根 晃

第1回…………… 492(5)

第2回…………… 606(6)

内因性精神病の生化学

大月 三郎・秋山 一文

第1回…………… 500(5)

第2回…………… 616(6)

地域精神保健活動の現状と展望…蜂矢 英彦

第1回…………… 722(7)

第2回…………… 840(8)

老年期痴呆の構造と臨床類型

室伏 君士・田中 良憲・後藤 基卿

第1回…………… 732(7)

第2回…………… 848(8)

ドイツ精神病理学の動向……………木村 敏…1062(10)

総合病院におけるリエゾン精神医

学……………小林建太郎・渡辺 昌祐…1176(11)

精神分裂病における言語新作……………森山 成林

第1回……………1290(12)

## 〔特別寄稿〕

分裂病患者の社会適応のための技

能訓練

Robert Paul Liberman・Harvey

Jacobs・Steve Boone・David Foy・

C. Peter Donahoe・Ian R.H. Falloon

Gayla Blackwell・Charles J. Wallace

翻訳 中込 和幸・福田 正人

平松 謙一・丹羽 真一…………… 229(2)

## 〔研究と報告〕

とらわれの精神病理について—

考察—強迫神経症の1治療例

を通して……………長山 恵一… 17(1)

「苦悩の重圧」からみた思春期や

せ症の1治療例

親富租勝己・吉野 啓子・宮本 忠雄… 27(1)

Gilles de la Tourette 症候群の

精神医学的研究

—(1)症状論的検討……………斎藤 幹郎… 35(1)

カプグラ症状を示した眼皮膚白皮

症の1例……………横山 尚洋… 45(1)

糖尿病コントロール中に大食症を

合併した1症例……………古川 壽亮… 53(1)

青年期女性における Bulimia の

実態調査

切池 信夫・永田 利彦・田中 美苑

西脇 新一・竹内 伸江・川北 幸男… 61(1)

在院精神障害者の死亡に関する検

討

秋田 博孝・瀧沢 韶一・児玉 秀敏

久保 摂二…………… 69(1)

殺人を犯した覚醒剤中毒・アルコ

ール依存症の1例

大原 浩一・堀尾 直樹・野村 和弘

川口 浩司・板谷 武彦・星野 良一… 77(1)

バルプロ酸ナトリウム追加による

慢性高アンモニア性脳症の1

例……………土井 永史・益子 茂… 83(1)

言語障害(Dysphasic seizure)て

んかん重積状態の1症例

佐藤 圭子・工藤 達也・八木 和一

清野 昌一…………… 91(1)

## Haloperidol 非経口投与によるウ

サギ血漿 CPK 値の継時的変

化……………長沼 英俊・藤井 薫… 97(1)

## 心気症の精神療法

—自己愛的病理の観点から

近藤 三男・室谷 民雄…………… 131(2)

## 精神病症状消退後の虚脱状態と過

渡対象—ある精神分裂病者の

寛解過程から

三野 善央・永松 郁子・牛島 定信… 141(2)

## 精神分裂病圈患者に対する役割啓

発的接近法の試み—「自己啓

## ■ 発型精神分裂病患者群」と

「役割啓発的接近法」の提唱

(第2報)

宮内 勝・安西 信雄・太田 敏男

亀山 知道・浅井 歳之・池淵 恵美

増井 寛治・小澤 道雄・染矢 俊幸

原田 誠一…………… 149(2)

## FPN-Forrest test (急速尿呈色試

験) による服薬維持の試み

(第2報) —精神科通院患者

における有用性

飯塚 博史・岩成 秀夫・小田 豊美

酒井 正雄…………… 161(2)

## 精神障害者に発生する多飲の臨床

的諸特性—水中毒準備状態の

早期発見に向けて……………松田 源一… 169(2)

## インターフェロン治療中、一過性

の精神症状を呈したB型肝炎

肝炎の2例

廣田 典祥・浜田 芳人・川浪由喜子

鈴木 治徳・高橋 克朗・内野 淳

古賀 満明・田島平一郎・南野 毅

矢野 右人…………… 177(2)

## ブロン依存症の離脱後に意識障害

を呈した1症例

吉川 領一・小片 寛・融 道男… 183(2)

## じん肺による肺性脳症

原田 正純・斉藤 岬…………… 191(2)

## 幻覚妄想状態を呈した結節性硬化

症の1例

牟礼 利子・榊 敏幸・藤井 英雄

森岡 洋史・松本 啓・鮫島 秀弥… 197(2)

## 外来慢性難治てんかん患者に対す

る carbamazepine による単

剤治療の効果

上杉 秀二・小島 卓也・松浦 雅人

宮坂 松衛…………… 335(3)

## Mianserin の向精神作用に関する

定量脳波学的研究

山本 幸良・磯谷 俊明・岡島 詳泰

斎藤 朱実・本多 義治・南 良武

福井 安治・斎藤 正己…………… 345(3)

## 奇妙な精神症状を呈した脳血管性

痴呆の1例

松岡 清恵・小島居 滋・野中 健作

坂本 哲郎・加藤 一郎・稲永 和豊… 355(3)

## 新抗てんかん薬 zonisamide の臨

床効果と安全性—多施設共同

第三相試験

小野 常夫・八木 和一・清野 昌一… 471(4)

## 恐慌発作を有するうつ病の臨床的

検討

杉原 徳郎・岸本 朗・水川 六郎

石黒 忍・松林 実・高田 照男

青山 泰之・挾間 秀文…………… 507(5)

## 日本と中国における精神分裂病の

妄想主題—比較文化精神医学

的検討

藤森 英之・鄭 瞻培・木崎 康夫

蔡 正杰…………… 517(5)

## Gilles de la Tourette 症候群の

精神医学的研究—(2)器質的

要因について……………斎藤 幹郎… 529(5)

## アルコール依存症の予防と治療的

介入—教育的、集団療法的ア

プローチ

宮里 勝政・山城 厚生・杉本 好行

野田 和男・荒田真理子・久田志津代… 537(5)

## 我が国のアルコール依存症患者の

専門治療施設に関する調査—

その1. アルコール専門病棟

樋口 進・村松 太郎・荒久保昭子

石井 恵理・山田 耕一・村岡 英雄

丸山 勝也・河野 裕明・今道 裕之

小杉 好弘…………… 547(5)

## 両側対称性大脳基底核石灰沈着と

精神症状について

木村 健一・小原 基郎・阿部 完市

- 溝口 藤雄・尾原 義悦・小池 順平… 553(5)
- Rud 症候群の1例—精神症状を中心として…大島 浩伸・皆川 正男… 563(5)
- L-Dopa の著効した脳卒中後遺症による病的笑いの1症例  
中村 清史・石田 隆男・山田 準子  
山内 一長・別府 道德・矢崎 俊二… 569(5)
- フェティシズムを呈した特発性副甲状腺機能低下症の1例  
滝口 直彦・会川真理子・羽藤 邦利  
大谷 輝信・永江 三郎・石川 義博… 575(5)
- 脳手術後の意識障害を背景に反響書字を呈した1例  
波多野和夫・浅野紀美子・立岡 良久  
森宗 勲・山村 邦夫・寺浦 哲昭… 627(6)
- ウェクスラー記憶尺度の日本語版研究—分裂病患者と正常者との比較  
木場 清子・中村美智子・平松 博  
山口 成良・倉知 正佳… 635(6)
- 精神分裂病患者の血清中の単純ヘルペスウイルス1型に対する抗体について  
堀田 直樹・鳥羽 和憲・内田清二郎  
荻野 忠・加藤 伸勝… 643(6)
- Bulimia の視床下部—下垂体—性腺系について  
切池 信夫・西脇 新一・永田 利彦  
前田 泰久・川北 幸男… 739(7)
- 高齢者の夜間睡眠—睡眠構造の特徴と睡眠時無呼吸について  
新ヶ江 正・毛利 義臣・千葉 茂  
松本 三樹・山下 努・武井 明  
太田 耕平… 745(7)
- 多彩な強迫症状を呈した Turner 症候群の1例  
由布 信夫・末次 基洋・取違 慎一… 753(7)
- てんかん患者にみられる挿間性うつ状態—類似の発作症状と抑うつ状態を呈した母子例を中心に  
竹下 久由・川原 隆造・織田 尚生  
田中 隆彦・挾間 秀文… 761(7)
- 奇妙な自動症を呈し前頭葉由来のてんかんが疑われた2症例  
大内 清・沼田 陽市・緒方 明… 769(7)
- 幻覚妄想状態を呈した原発全般てんかんの2症例  
釘宮 誠司・緒方 明… 777(7)
- “コロ(Koro) 妄想”を伴う精神分裂症の1症例…雷 聲… 785(7)
- 我が国のアルコール依存症患者の専門治療施設に関する調査—その2. アルコール専門病床およびアルコール専門外来  
村松 太郎・樋口 進・荒久保昭子  
石井 恵理・山田 耕一・村岡 英雄  
丸山 勝也・河野 裕明・今道 裕之  
小杉 好弘… 791(7)
- 単科精神病院における身体的救急処置を要した患者の実態  
澤原 光彦・平島 正敏・田中 猛彦  
田中 民子・渡辺 節・帆秋 孝幸… 797(7)
- 新しい抗不安薬 Buspirone の臨床床効果…西園 昌久… 803(7)
- 精神障害を呈した砒素ミルク中毒被災者8例の臨床的特徴  
水川 六郎・梅沢 要一・稲垣 卓  
福田 武雄・山根 巨州・常松 篤… 857(8)
- 児童・思春期(18歳以下)発症の精神分裂病の状態像—昭和38〜42年と昭和56〜60年入院例の比較  
弟子丸元紀・金山 寿一・渡辺健次郎  
山本 和儀・山下 建昭・上妻 明彦  
荒木 邦生・赤城 藤孝・松永 哲夫  
首藤 謙二・倉元 涼子・宮川 太平… 865(8)
- 精神分裂病患者における学習過程と P300 成分—frequent P300 成分出現におよぼす方略教示の影響  
福田 正人・永久保昇治・中込 和幸  
斎藤 治・平松 謙一・丹羽 真一  
林田 征起・亀山 知道・伊藤 憲治… 877(8)
- 向精神薬による悪性症候群の臨床病理学的研究…岩淵 潔… 885(8)
- 躁うつ状態に対するカルバマゼピン療法の検討—リチウムからの切り替え症例を中心に  
久住 一郎・浅野 裕・加沢 鉄士

- 林下 忠行……………899(8)  
 妊婦の精神病に対する無けいれん  
 電撃治療の有効性と安全性に  
 ついて  
 中島 一憲・守屋 裕文・正岡 直樹  
 渡辺 嘉彦……………907(8)  
 相貌認知の障害や視覚的記憶障害  
 などを呈した右後頭葉梗塞の  
 1 臨床例  
 鈴木 利人・大福浩二郎・白石 博康  
 小泉 準三・能勢 忠男……………999(9)  
 精神分裂病患者における認知的構  
 えの固着  
 横田 正夫・高橋 慈・依田しなえ  
 岸 芳正・原 秀之・町山 幸輝…1007(9)  
 夫婦で罹患した皮膚寄生虫妄想…齊藤 正武…1015(9)  
 抗精神病薬服薬中の精神分裂病患  
 者の自律神経症状—心電図  
 R-R 間隔の変動係数(CV 値)  
 を用いた研究  
 藤井 英雄・鹿井 博文・牟礼 利子  
 堀 康子・水谷 弘・冨永 秀文  
 松本 啓……………1023(9)  
 自験9例に基づく共生幼児精神病  
 (Mahler) 概念の検討……………栗田 広…1073(10)  
 Gilles de la Tourette 症候群の  
 成因の検討—症状と幼少時類  
 似行動との比較  
 野本 文幸・高橋 隆一……………1081(10)  
 アルコール問題を持つ家族の中の  
 子供達—児童相談所ケースか  
 ら  
 鈴木 健二・小野 克彦・樋口 進  
 村岡 英雄・伊藤 千恵・荒久保昭子  
 石井 恵理・河野 裕明……………1089(10)  
 慢性精神分裂病患者の Age Dis-  
 orientation と記憶の時間的  
 秩序の障害  
 中川 敦子・鳥居 方策・田口 真源  
 中川 博幾……………1099(10)  
 いわゆる非定型精神病の一群の診  
 断と分類に関する調査  
 高橋 三郎・飯田 英晴・藤縄 昭…1107(10)  
 うつ病患者における体温リズム異  
 常—予報的報告  
 辻本 哲士・山田 尚登・下田 和孝  
 高橋 三郎……………1115(10)  
 デキサメサゾン抑制試験とうつ病  
 の症状、重症度および治療反  
 応予測  
 永山 治男・長野 浩志・池崎 明  
 田代 哲男……………1123(10)  
 作業能力の低下した精神分裂病患  
 者の社会復帰の実態とその治  
 療技法  
 岩波 明・安西 信雄・原田 誠一  
 金生由紀子・中込 和幸・横田 圭司  
 熊谷 直樹・佐々木 司・式場 典子  
 宮内 勝……………1133(10)  
 精神科デイケアの治療的意義  
 —Identity 障害の1女性例の  
 経過から  
 笠原 敏彦・阿曾加寿子・大西由美子  
 徳本 栄子・佐藤恵美子・安達 克己  
 深沢 孝克・上野 武治……………1141(10)  
 ヒステリー性もうろう状態におい  
 て老婆の形姿もしくは Senil-  
 ism を呈した1症例  
 三田 俊夫・酒井 明夫・橋本 光彦  
 斎藤 弘一・金森 一郎・切替 辰哉…1149(10)  
 対人恐怖と分裂病—森田療法の治  
 療の場を起点として  
 北西 憲二・吉田 則昭・松沢 信彦…1187(11)  
 強迫神経症のうつ病近縁性につい  
 ての一考察……………中嶋 聡…1197(11)  
 他科における向精神薬の投与状況  
 (Ⅱ)—内科領域における抗不  
 安薬の調査から  
 武市 昌士・佐藤 武・中川 龍治  
 庄野 禎二・園田 敏裕……………1205(11)  
 知覚変容体験を伴った反復性「発  
 作症状」を示した精神分裂病  
 の2症例—「発作症状」の特  
 徴と biperiden の効果  
 樋口 久・清水 徹男・菱川 泰夫…1213(11)  
 左右の逆転視がてんかん発作とし  
 て起こったと思われる1例  
 西山 浩二・坂本 哲郎・中沢 洋一  
 稲永 和豊……………1221(11)  
 自己意識から見た神経症とその周

- 辺(第2報)一神経症化しや  
すい自己意識の偏りと性格傾  
向について  
鍋田 恭孝・菅原 健介・片山 信吾  
越川 裕樹……………1297(12)
- 我が国の汚言症 Coprolalia の特  
徴……………野本 文幸…1305(12)
- 中年期精神障害の特徴—外来臨床  
統計の解析から  
佐藤 哲哉・幸村 尚史・小林 慎一  
佐藤 新・飯田 眞……………1311(12)
- 分裂病類似の精神症状を呈した外  
国人の精神科救急症例  
坂口 正道・梅津 寛・藤森 英之…1323(12)
- 季節性感情障害の1例—光パルス  
療法の試み  
久住 一郎・浅野 裕・加沢 鉄士  
林下 忠行……………1333(12)
- 二重身体験を伴った Cotard 症状  
群……………尾久 裕紀…1339(12)
- 躁うつ病様症状を呈した 46,XY/  
47,YYY モザイク型 XYY  
男子の1例  
花田 進・三田 達雄・白川 治…1345(12)
- 〔短 報〕
- うつ病寛解期に不潔恐怖を呈した  
3例  
飯田 順三・山岡 一衛・川端 洋子  
中井 貴・織部 裕明・平井 基陽  
井川 玄朗・小西 博行……………101(1)
- 不安神経症の慢性期病像について  
竹内 龍雄・林 竜介・富山 學人  
岡田 眞一・山内 直人・高橋 徹…105(1)
- 精神症状と脳波異常を呈したテン  
グタケ中毒の1例  
佐藤 新・坂井 昭夫・星 敬子  
奥田 正英・内藤 明彦……………109(1)
- Haloperidol によると思われる薬  
物性肺臓炎を呈した分裂病の  
1例  
佐藤 武・木谷 崇和・武市 昌士…203(2)
- 睡眠時無呼吸症候群を伴った遷延  
性うつ病の1寛解例  
盛口まどか・藤田 基・五十嵐文雄  
奥田 正英・伊藤 陽……………207(2)
- 精神分裂病様症状を繰り返した脊  
髄損傷の1例  
三宅 雅人・井上 和臣・小林 豊生  
岸川 雄介・中嶋 照夫……………213(2)
- 全身性の骨化傾向を認めた分裂病  
の1例  
福西 勇夫・細川 清・馬場 英三…580(5)
- 脳梗塞後、持続的な地誌的障害を  
認めた1例  
中村真理子・佐藤 能史・堀内 博彦  
芦田 妙子・竹上 徹・浮田義一郎  
中嶋 照夫・大谷 亙……………583(5)
- コンピュータ技術者と販売店員の  
精神保健—職種による違い  
渡辺 登・増野 純……………586(5)
- 急性薬物中毒によるアルファ昏睡  
に紡錘波の出現した1例  
西岡 和郎・粉川 進・太田 龍朗…589(5)
- 微熱を主症状としたうつ病の2例  
宮永 和夫・米村 公江……………592(5)
- てんかん精神病における抗けいれ  
ん薬血中濃度についての1考  
察—寛解を経験した症例を中  
心に  
原 純夫・横山 尚洋・原 常勝…649(6)
- 多剤乱用を伴ったブロン依存症の  
1例  
小林 一弘・牛見 豊・鈴木 康夫…653(6)
- Sulpiride が有効であった  
phenytoin により誘発された  
oral dyskinesia の1例  
瀬尾 崇・元村 直靖・今津 好秀  
堺 俊明……………656(6)
- 心因性障害を疑われた CNS-SLE  
の1例—<sup>123</sup>I-IMP-SPECT に  
より局所脳血流量低下が確認  
されたもの  
森 宏明・鈴木 康夫・大瀧 和男  
水野 明典・大原健士郎……………813(7)
- アルコール症にみられた大脳縦裂  
部硬膜下血腫  
赤井淳一郎・村松 太郎・小池 祐治  
上野 裕壹……………817(7)
- AIDS 恐怖症および AIDS 妄想

を示した5例について

塩崎 一昌・大原 浩……………819(7)

精神分裂病者の飲酒態度と発症に

よる影響—4病院の調査から

福井 靖人・桑村 茂宜・川名 明德

西井 華子・青木 勇人・石井 軍司

加藤 能男・柴田 洋子・増田登志子

田中 義郎……………915(8)

diclofenacにより誘発されたリチ

ウム中毒の1例

金谷 俊則・神田 晃・佐伯 俊成

熊田 利郎……………919(8)

人格変化と不潔恐怖様症状を呈し

た Turner 症候群の1例—由布 信夫…1031(9)

Clomipramine 投与中にけいれん

発作を生じた2症例

中村 光夫・福西 勇夫・森岡 英五

川西 聖子・久郷 敏明・早原 敏之

細川 清……………1035(9)

精神分裂病症状を示した ADD

の1例

加藤 雅人・野本 文幸・町山 幸輝…1155(10)

恐慌性障害の治療と経過

長野 浩志・藤井 薫……………1159(10)

特異な回復過程を示した全生活史

健忘の1症例

大矢 大・桜井 文・岸川利枝子

大矢 睦・木村 定……………1227(11)

意識障害、低血糖、代謝性アシド

ーシスを呈した脳血管性痴呆

の1例—ホパンテン酸カルシ

ウム服用例

田島 宣行・矢島 英雄・斎藤 典彦

矢幅 啓孝・佐藤 敬司・三田 俊夫…1230(11)

小舞蹈病にてかん性脳波異常と

けいれん発作を伴った1症例

鮫島 哲郎・二宮 英彰・鶴 紀子…1233(11)

バルプロ酸ナトリウム徐放剤

KW-6066 N の臨床試験

川原 隆造・竹下 久由・挾間 秀文

竹下 研三・林 永祥・西川 清方

北川 達也・西田 政弘・釜瀬 春隆

笠木 重人・高倉 廣喜……………1237(11)

Spike-Wave Stupor に対する維

持薬物療法について

木戸日出喜・長谷川 充・坂本 宏

山口 成良・竹内 正士・倉田 孝一…1353(12)

血清リチウム濃度に季節的な変動

がみられた躁うつ病の1女性

例……………青野 哲彦…1357(12)

## 〔古典紹介〕

Friedrich Mauz: Die Prognostik

der endogenen Psychosen

第3回

翻訳 曾根 啓一・植木 啓文

高井 昭裕・児玉 佳也

解説 植木 啓文 ……………219(2)

Walter von Baeyer:

Über konformen Wahn ……………翻訳 大橋 正和

第1回……………923(8)

第2回……………1039(9)

Paul Julius Möbius

Ueber die Eintheilung der

Krankheiten

翻訳 山岸 洋・波多野和夫・

濱中 淑彦

第1回……………1241(11)

第2回……………1371(12)

## 〔紹介〕

1985年メキシコ大地震の経験か

ら—地震災害と精神衛生……角川 雅樹…823(7)

フィリップ・ピネルーその故郷と

生家……………影山 任佐…1163(10)

西太平洋地域における WHO 精

神衛生プログラム……………新福 尚隆…1361(12)

## 〔動き〕

国際精神医学・精神分析学史学会

について……………影山 任佐…217(2)

日仏精神医学シンポジウム……………濱田 秀伯…483(4)

国際神経心理学会印象記

渡辺 俊三・田崎 博一・田川 浩一

長田 乾……………596(5)

第3回日本精神衛生学会印象記…浅井 邦彦…598(5)

ベルン大学児童・青年精神医学講

座開設 50周年記念シンポジ

ウム……………清水 将之…659(6)

精神医学関連学会の最近の活動 (No. 3)……………661(6)

## アメリカの精神科治療, 特に精神

療法の現状について……………黄 崑理… 933(8)

## 第84回日本精神神経学会総会印

象記……………山口 成良… 939(8)

## わが子への医療拒否は児童虐待か?

……………池田 由子…1052(9)

## 第11回精神病理懇話会印象記…清水 将之…1384(12)

## 〔追悼〕

牧田 清志教授を悼む……………岩崎 徹也… 831(7)

## 高橋 良教授を悼む

略歴と主な研究業績……………小見山 実…1380(12)

高橋 良教授を惜しむ……………島蘭 安雄…1381(12)

長崎時代の高橋 良先生……………中根 允文…1382(12)

## 〔書評〕

土居 健郎・他編「異常心理学講

座 IV—神経症と精神病」…………飯田 眞… 112(1)

I. F. プロキントン・R. クマー編/

保崎秀夫監訳「母性と精

神疾患」……………大熊 輝雄… 832(7)

秋元波留夫・山口成良編著「神経

精神医学」……………保崎 秀夫… 940(8)

Griffith Edwards 著/清水信・

森岡洋訳「アルコール症治療

の手びき」……………岩崎 正人…1168(10)

影山任佐著「フランス慢性妄想病

論の成立と展開」……………濱田 秀伯…1282(11)

Anne-Lise Christensen 著/西村 健監訳

「ルリア 神経心理学的検査法」

……………鹿島 晴雄…1385(12)

## ◎今月のうつ病診断治療に必須の要点を詳述

## うつ病診療の問題点

## VERMEIDBARE FEHLER IN DIAGNOSTIK UND THERAPIE DER DEPRESSION

Paul Kielholz

Carlo Adams

高橋 良 監訳

東京医科歯科大学教授

渡辺哲夫・岩脇 淳 訳

東京医科歯科大学神経精神科

本書は、うつ病の診断・治療に際して陥りやすい臨床上の要点をとりあげ、その対応を簡潔に記述したものである。執筆には世界的に著名な研究家・臨床家があたり、最新の情報と臨床経験の粋を述べている。

また訳文も正確、平明で読みやすい。精神科医をはじめ各科臨床家にとつて大変実用的なレファレンスである。

## ●主要内容

1. はじめに診断あり
2. うつ状態の鑑別診断の難しさ
3. 児童・青年のうつ病診断
4. 自殺の可能性をもつうつ病に対する重大な誤診
5. うつ病患者とその家族
6. 家族・環境とうつ病治療
7. うつ病患者の仕事と休暇
8. うつ病と性
9. うつ病とリウマチ性疾患
10. うつ病と予後良好な身体疾患
11. うつ病と予後不良な身体疾患
12. 薬物療法のつまずきの石
13. 小児・青少年の治療におけるうつ病の特殊な問題
14. うつ病患者の治療における過ち
15. 精神科へ患者を紹介する際の要点
16. 一般開業医とうつ病患者

●A5 頁188 図10 1987  
¥2,500 〒300



医学書院

1113-911

東京・文京・本郷5-24-3 ☎03-817-5657(販売部直通) 振替東京7-96693